

## 団長の独り言

6月18日(日)「夢のとおり道」

7月15日(土)、16日(日)に開催する劇団ふあんハウス第43回公演「人生芸夢く夢のとおり道」には、物語の核となるテーマ曲がある。

タイトルは「夢のとおり道」。

芝居の内容に沿った歌詞に、素敵なメロディーは、一度聞くと忘れられなくなるほど感動してしまう素晴らしい曲。

前回の「人生芸夢・赤坂公演」を御覧になった方々からも、「素敵なお曲ですね!」「お二人の歌に引き込まれました」という感想も沢山頂戴し、なかには「娘達にも聞かせたいのですが、どこで配信されているのですか?」というお声まで頂く。

実はこの曲、劇団ふあんハウスの完全オリジナル曲として、配信だとか販売だとかは特に行っていないのだが、前回の赤坂公演を終えてから「CDが欲しい」「何度でも聴きたい」という要望や問合せが結構あり、そこで「夢のとおり道」の音楽CDを創ろう!とて事となり、2月の赤坂公演が終わった翌月の3月に「CD制作プロジェクトチーム」を発足し、何度も何度も録り直し、何度も何度も編集をし直し、何度も壁にぶつかり、完成までに3か月以上も要し、誰もが納得出来るCDがこの度完成した。

劇団公式ホームページや、YouTubeの劇団ふあんハウスチャンネル、ツイッター、インスタグラム、フェイスブック等のSNSからのお申込みと、劇場でも販売を致しますので、ぜひお買い求めいただければと思います。

さて、その「夢のとおり道」という曲は、約20年前に上演した劇団ふあんハウス第7回公演「人生芸夢く夢のとおり道」の主題歌として、創立メンバーである「咲美」ちゃんが作詞・作曲した作品。

あの時、私がまず「人生芸夢」の脚本を描いて、作品のイメージに合わせて、咲美ちゃんが曲を創ってくれるという事になっていたので、いつもならば、すぐ曲を創ってくれる咲美ちゃん、この曲に関してはかなり苦戦し、稽古が始まって2か月経っても曲が出来なかった。

「人生芸夢」という芝居は、主題歌あつての作品なので、曲がないまま稽古を進めているという事に不安を抱きつつ、稽古をしたのを覚えている。

しかし一番不安で、そして苦しみぬいていたのは曲作りを任せられた咲美ちゃんだったのは間違いない。

私もモノを創る苦しみがあるものか知っているだけに、極力催促はしないように心掛けていたけれど、つい：「まだ?」って彼女に聞くようになり、その聞く回数も増えてきて、それがまた咲美ちゃんを苦しめてしまっていた。

その咲美ちゃん、苦しみ抜いて苦しみ抜いて本番まであと僅かとなったある日、ついに曲を完成させ、稽古場で彼女がピアノを弾きながら歌ってくれたものを皆で聞いたのだが、出演者全員感動してしまい、なかには涙するメンバーまでいた。その歌を当時の歌姫役の二人が咲美ちゃんの指導の下、劇中で歌ってくれるのを聴き、これまた感動!おかげ様で「人生芸夢く夢のとおり道」は大成功を収める事が出来た。

そんな咲美ちゃんが、中学生となった二人の素敵なお嬢さんと共に、本日、劇団ふあんハウスの稽古場にやってきました!

彼女と会うのは十数年前に開催した「ライプショー」にスペシャルゲストとして参加してもらった時以来で、劇団ふあんハウスの「芝居の稽古場」に彼女が参加するのは、なんと約20年ぶり!

積もる話もあるけれど、今回の座組になって初の「通し稽古」を観て貰う予定になっていたので話もそこそこに、通し稽古が出来た状態になったところで、咲美ちゃんを皆さんに紹介し、まずは名刺代わりに彼女が劇団ふあんハウスに在籍していた時、オープニングで唱したオリジナル曲「輝きの季節」を歌ってもらおう。

予定にない私の無茶振りに咲美ちゃんは、「えー!そう来る!?!」とかかなり困惑していたけれど、ピアノの前に座るとふーんと深呼吸をして、ゆっくりとイントロを引き始めた。

あゝこのイントロ!何度聴いたことだろうか?イントロ聞いただけで私の涙腺は緩み始め、昔と変わらぬ迫力ある歌を聴いているともうだめ：。

劇団ふあんハウスを25年前に設立した時のあの場面この場面、みんなで大笑いしたあの日あの時、そして劇団解散の危機：色々な事があったけれど、困難を乗り越えて今がある：そんな事を思い出していると、自然と涙が頬を伝う：。いやあ歌の力ってすごい!

その「輝きの季節」を、当時と変わらぬ迫力で熱唱する咲美ちゃんの歌を聴き終えると、メンバーから大きな拍手が沸き起こる。

よし!今度はみんなが咲美ちゃんに芝居をお披露目する番!彼女にとっても大変思い出深い「人生芸夢」をじっくり観て貰うと、その姿は真剣そのもの。

特に生みの苦しみの中完成した「夢のとおり道」を歌う場面では、身を乗り出して、審査委員長のように厳しい表情。さぞやこの歌を歌うより恵さんも、千秋ちゃんも緊張した事と思う。

約2時間の芝居を終え、咲美ちゃんに感想を述べてもらい、さあ!さあ!お待ちかね!ご本人によります「夢のとおり道」を聴かせていただくと、20年前のオリジナルから更に進化したジャズ風のとってもしっかり「夢のとおり道」を聴かせていただいた。

その後、約1時間の休憩に入ったのだが  
歌姫役の千秋ちゃんとまり恵さんは、咲  
美ちゃん直々に歌の指導を受ける。

咲美ちゃんからの指摘で、ハモリの部分  
が物足りないとの事。

そこで吹奏楽部で全国大会出場の長女  
さんの意見も聞きつつ、1時間ビッシリ、  
咲美ちゃんから指導を受ける二人。

熱烈なる指導後の二人の歌声を聴かせ  
てもらおうと、全然違う！本当に！

歌全体の幅が広がったし、何より迫力が  
増し、めっちゃめっちゃいい感じになった。

作った人が指導すると、こんなにも変化  
するものなのか！と感動した。

そして咲美ちゃんが帰る時間となり、み  
んなで記念撮影して、皆でお礼を言って、  
私は咲美ちゃんとお嬢さんを駅までお  
見送り。

道中、彼女が「团长、よくぞここまで統  
けてくれましたよねえ〜」って、シミジ  
ミ言ってくれたその言葉が胸に沁みた。

初めて咲美ちゃんと出会ったのは、劇団ふ  
あんハウスを設立する更に2年ほど前だ  
からもう27年くらい前になる。

彼女は「クロスロード」というバンドでボー  
カル兼キーボードを担当していて、その  
音楽センスに惚れ込み、「1回だけの劇  
団だから」と彼女を口説き創立メンバー  
として参加して貰う。

その後、劇団ふあんハウスの音楽担当と  
して数々の名曲を生み出し、役者として  
も出演をした。

そんな昔話から、誰々さんが誰々さん  
と結婚したんだって！とか、あの時はこ  
うだったね！ああだってね！って大笑いし  
つつ、昔を懐かしんでいるとあ〜という間  
に駅に到着。

咲美 ミズノ 様御一行は、明るい笑顔と  
共に、改札口に続く階段を下りって行っ  
たのでした。

咲美ちゃん、劇団ふあんハウスも設立か  
ら25年が経ち、随分と色々な事が変  
化したけれど、25年前と変わらぬもの  
は、「熱意」と「やる気」さえあれば、障害  
があるうがなかるうが本物の芝居が出  
来る！という想いで活動を続けているっ  
て事と、「夢」をテーマにした作品を創り  
続けているって事。

咲美ちゃんが創りだしてくれた「夢のと  
おり道」、大切に大切に、これからも劇  
団ふあんハウスで育てていきますので、  
たまには稽古場に顔を出して、ご指導の  
ほどよろしくお願い致しますね。

そんな機会があれば、また一緒にお芝  
居を創ろうね！

今日は本当にどうもありがとうございます  
でした。

それでは7月！劇場にて、お待ち致して  
おります。